健康福祉局 資　　料	No.8

令和８年 11 月 19 日
課名　健康福祉局被爆者支援課
担当者　課長　川本
内　線　3108

放射線被曝者医療国際協力推進協議会（HICARE）と国際原子力機関（IAEA）協働による国際医療研修の実施について

１　要旨・目的

HICARE は、IAEA と協働で、アジア太平洋地域等で先進的放射線治療を担う人材育成を図るため、国際医療研修を実施する。

２　現状・背景

HICARE は、平成 26 年に「放射線の影響とこの健康に関わる人材の育成」の事業分野において IAEA 協働センターの指定を受け、「放射線の人体への影響」「放射線事故や災害への医療対応」「先進的放射線治療」の３つの分野における人材育成をアジア・太平洋地域を中心に行っている。IAEA との国際医療研修は、協働センター指定後、今回で９回目の実施となる。

３　概要

(1)　実施主体

放射線被曝者医療国際協力推進協議会（HICARE）

(2)　実施期間

令和８年 11 月 24 日（火）～11 月 27 日（金）（４日間）

(3)　場所

広島がん高精度放射線治療センター（HIPRAC）、広島大学霞キャンパス

(4)　実施内容

ア　名称

HICARE INTERNATIONAL TRAINING COURSE on Advanced Radiation Therapy Organized in cooperation with IAEA

IAEA 協働 HICARE 国際医療研修コース　高度放射線治療

イ　内容

先進的放射線治療技術に関する講義、実習及びディスカッション

ウ　監修者

村上　祐司（広島大学病院教授）

エ　出席者等（先進的放射線治療の専門家等）

区分	人数	摘　　要
講　師	18 人	・IAEA 派遣：１人 ・HICARE 招聘：17 人 （広島大学、広島がん高精度放射線治療センター、県立広島病院、京都大学、香川大学、中国労災病院、HICARE）
参加者	13 人	９カ国 （モンゴル、ベトナム、インドネシア、ヨルダン、トルコ、パキスタン、タイ、インド、エジプト）